



平成 18 年 11 月 13 日

各 位

会社名 駒井鉄工株式会社
代表者名 取締役社長 須賀 安生
(コード番号 5915 東証・大証第 1 部)
問合せ先 専務取締役兼専務執行役員
海老澤 正博
(TEL. 03-3833-5101)

独占禁止法違反事件に関する判決 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は東京高等裁判所において審理中であった独占禁止法違反事件において、平成 18 年 11 月 10 日、下記のとおり判決言渡しがありましたのでお知らせいたします。

また、平成 18 年 5 月 19 日に公表した平成 19 年 3 月期の中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）および通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想をそれぞれ下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 判決について

当社は、国土交通省及び旧日本道路公団が発注した鋼橋上部工事の入札に関し、独占禁止法違反容疑で、平成 17 年 6 月 15 日、東京高等検察庁より起訴されましたが、平成 18 年 11 月 10 日、罰金 2 億 4 千万円の支払いを命じる判決を受けました。

当社といたしましてはこの判決を厳粛に受け止めており、株主の皆様、お客様並びに関係各位に多大なご迷惑・ご心配をおかけしたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

当社は、再発防止に向けた取組みを引き続き最重要課題と位置づけ、法令遵守の徹底を図るべく全役職員に対する教育・研修を継続し、併せて内部管理体制の機能強化を推し進め、早期の信頼回復に向け努力して参ります。

なお、今後の方針につきましては、判決の内容を検討した上で決定いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 平成19年3月期 個別中間業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	17,700	310	170
今回修正予想(B)	13,402	△230	△727
増減額(B-A)	△4,298	△540	△897
増減率(%)	△24.3	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	10,311	△828	△5,248

(2) 平成19年3月期 連結中間業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	20,000	280	140
今回修正予想(B)	16,020	△172	△658
増減額(B-A)	△3,980	△452	△798
増減率(%)	△19.9	—	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間)	12,768	△907	△5,340

(3) 平成19年3月期 個別通期業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	33,800	140	80
今回修正予想(B)	34,200	80	△480
増減額(B-A)	400	△60	△560
増減率(%)	1.2	△42.9	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	37,435	448	△3,498

(4) 平成19年3月期 連結通期業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	39,900	280	140
今回修正予想(B)	40,700	200	△410
増減額(B-A)	800	△80	△550
増減率(%)	2.0	△28.6	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	41,828	506	△3,474

(5) 修正の理由

1) 個別中間業績

売上高につきましては、中間期完成予定の一部鉄骨工事の下期への工期延伸により、前回予想を下回る見込みとなりました。

損益面では売上高の減少による下期への利益の繰越しに加え、橋梁工事の落札率低下による工事損失金を引当てたことにより、経常損失の見込みとなりました。また、独占禁止法違反事件の判決による罰金 240 百万円及び違約金等の追加引当てなど合計 713 百万円を特別損失に計上したことにより、中間純損失の見込みとなりました。

2) 連結中間業績

個別中間業績予想の修正に伴い、連結中間業績予想の修正を行うものであります。

3) 個別通期業績

損益面では鉄骨工事の採算の改善や全社的なコスト削減努力により、経常利益 80 百万円の見込みですが、橋梁の工事損失引当金を計上することにより、前回予想を下回る見込みとなりました。

また、中間期計上の特別損失により、当期純損失 480 百万円の見込みとなりました。

4) 連結通期業績

個別通期業績予想の修正に伴い、連結通期業績予想の修正を行うものであります。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。